

オールインワンの遠隔管理サービス「Log System」が現場の在り方を変える

株式会社 log build

品質管理や安全管理、進捗管理を“見える化”してリモートでの施工管理を可能にする「Log System」は、長時間労働や属人的な管理体制など、建設業界の課題を解決に導くプラットフォームだ。

ツール売りだけでなく
導入後も伴走

株式会社 log build が 2020 年より提供している「Log System」は、遠隔施工管理をオールインワンで支援するサービスで、全国 7 万カ所以上の現場で活用されている。このシステムには「Log Walk」「Log Meet」という 2 つのツールと、遠隔管理専用の報告書アプリがある。「Log Walk」は 360 度カメラで撮影した現場情報をまるごと VR 空間化することにより、問題箇所の指摘や図面の確認など、現場で行われてきた施工指示を VR 空間で実施できる。また、パソコンやタブレットなどを使ってクラウド保存された VR 空間を自由に動き回ることができ、現場監督だけでなくすべての関

係者が「Log Walk」から進捗を確認可能だ。

さらに、現場と事務所をつなぐビデオ通話ツール「Log Meet」を利用すれば、遠隔からのポインター指示や記録写真の撮影、寸法計測も可能。これにより、施工品質の均一化が進み、施工品質の向上につながる。「当社サービスが他社と大きく違うのは、ツール売りではなく“成功への伴走”を行っている点です。関連会社として建築会社の ecomo があるのでツールだけ渡されても現場は変わらない”ということとはよく理解しています。同社で遠隔管理を成功させたノウハウを基に、導入企業が成果を出すまでのコンサルティングを行っています。また、システムは自社開発であるため、現場や職人からのニーズをスピーディーに取

②「現場をきれいにして、お客様に喜ばれたい」に込める

リモートダイコウは、現場の整理整頓や安全対策を遠隔でチェックし、写真と報告書で改善点をフィードバックし、清潔な現場づくりを促す。きれいな現場を維持することで、職人や社員の「自社への誇り」と顧客満足度の双方が高まる。

③「現場管理の人手が足りないから手伝ってくれる？」に込める

少ない人員で生産性を高めるために、log build のリモートダイコウチームを「自社の一員」として活用できる。社員は、社員にしかできない業務へ集中し、現場のチェックや確認は log build が担うことで、効率的で負担の少ない働き方を実現する。

④遠隔 DX 化の仕組みを整えて自社運用へ
リモートダイコウは、導入初期の運用設

り入れられる点も強みです」

現場監督としての経験が
慣習に疑問を持つきっかけに

log build は 2020 年創業のスタートアップ企業だが、代表を務める中堀氏は職人や現場管理者として経験を積んだ後に、20 代で独立して建設会社「株式会社 ecomo」を設立したという経歴を持つ。

「いくつもの現場を掛け持ちするため、移動時間が 1 日 3 ～ 4 時間にも及ぶ非効率さや、それに伴う長時間労働に強い問題意識を持っていました。工程表や見積もり、図面をチェックするなどの重要な業務も車での移動の時間を縫って行うという状態で、本当に時間をもったいなかった。何とか楽に、効率的に仕事を進めたいという純粋な動機が、業界の慣習に疑問を持つきっかけとなりました」

建築会社を経営する立場となり、現場監督の疲弊が会社の業績に直結する事業課題へと発展していくことに気付いたという。これを解決する手段はリモートであると考え、自社で遠隔管理システムを開発・導入。現場監督が現場に足を運ぶことなく管理ができる体制を構築し、働き方

計から体制構築までを支援し、最終的には企業自身が遠隔管理を自走できる状態へ導く。ノウハウを共有し、現場と事務所がスムーズに連携する DX 基盤づくりを後押しする。

⑤データを蓄積して、将来の AI 活用へ

遠隔管理で取得した現場データは「Log System」に蓄積され、将来的には log build が開発を進める AI による自動分析に活用可能。品質や安全の自動チェック、進捗の予実管理など、データに基づく次世代の施工管理を実現する。

「普及を拡大するための最大の壁は、技術やコストではなく“現場に行くべき”というまだ業界に残る固定観念です。この意識改革が最も困難かつ重要だと感じています」

「デジタル化の波は、もはや避けては通れない。遠隔化は単なる効率化ではなく、品質向上、人材確保、顧客満足度向上に直結する、企業の生き残りかけた“経営戦略”である。「当社としては、日本のきめ細やかな建設管理ノウハウをシステム化し、世界で戦うための武器として海外への展開も模索しています。AI によ



代表取締役

中堀 健一 氏

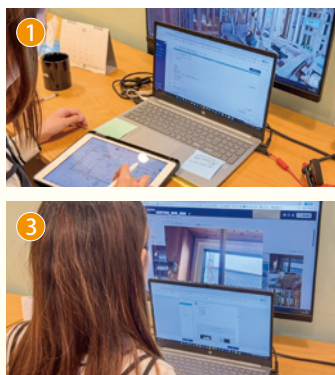
改革と生産性向上の実現を図った。「建築会社での成功体験を、業界全体の課題」の解決につなげるべく、log build の創業に至りました。当初は“現場に行くのが当たり前”という風潮が根強く、リモートという手段はなかなか受け入れられませんでした。しかし、コロナ禍により対面が敬遠されリモートへの心理的ハードルが下がったことで、徐々に注目が集まりました」

Log System ユニコー
ダイ「強い経営基盤を

遠隔施工管理を導入したいが人材確保が難しいという企業に対応するため、log build と ecomo が培ってきた現場管理の知見を基に、「Log System」を活用した遠隔管理体制を代行する「リモートダイコウ」というサービスを 2024 年にスタートしている。

①「現場の品質チェックって、どうしたらいいの？」に込める

Log System による遠隔チェックの一連の流れ (サッシチェックの例)



- 1 Log Walk (360 度 VR) で画面チェック
- 2 Log Meet (ビデオ通話) で遠隔立ち会いチェック
- 3 報告書アプリで書類作成
建築会社へチェック報告書を提出

る画像解析なども進化させ、建設業界の『ChatGPT』のような存在となり、現場の自動化をより推進していきたいと考えています」

●「Log Walk」「Log Meet」「リモートダイコウ」の概要

Log Walk



● 360 度 VR 空間を事務所で見ながら遠隔で、進捗管理・品質管理・安全管理を行うことが可能

Log Meet



● 関連会社である建築会社 ecomo の現場で、職人の実際の声を基に開発。操作不要の各種自動機能を搭載し、職人は「スマホを持って現場を歩くだけ」でよい

リモートダイコウ



● 標準施工要領書の作成、チェックシート整備などの仕組み作り、品質管理や安全管理のチェックを代行。小規模工務店からハウスメーカーまで、約 50 社を支援している (2025 年 11 月現在)